

## 第1部 文明と地域世界の形成

### 1 西アジア世界・地中海世界の形成

#### 3 ローマ帝国と地中海世界② (教科書 P. 33~35)

##### ① 実用的なローマ文化 [p. 33]

**特色** ギリシア文化・ヘレニズム文化を吸収した独自の文化

土木事業や法律など実用面ですぐれた才能を発揮

〈土木・建築〉

各地に巨大な石づくりの建造物

道路, 水道, [ ], 円形闘技場, 凱旋門など

〈法律〉

[ ] : ローマ市民の法から万民法へ

→ 6世紀 東ローマ帝国で『ローマ法大全』編纂

〈文学〉

アウグストゥス時代がラテン文学の黄金期

ウェルギリウスらの名作

〈歴史〉

カエサル『ガリア戦記』

[ ] 『ゲルマニア』

[ ] 『対比列伝 (英雄伝)』

##### ② キリスト教の成立と発展 [p. 34]

・アウグストゥス時代のパレスティナ

ローマの属州としてきびしい支配をうける→ヘブライ人たちは救世主(キリスト)を待望

[ ]

[  
・ユダヤ教の戒律の形式重視な側面を批判  
・社会的立場をこえた「[ ]」と隣人愛を説く  
]

↓

ローマへの反逆者としてうったえられ, 処刑される

・イエスの死後

弟子たちの間でイエスこそが救世主、イエスは復活したとの信仰が生まれる

→ [ ] 成立

・イエスの教えの広まり

使徒 [ ] や [ ] らが帝国各地に伝道

→下層民のあいだに広まる

・信者は皇帝崇拝拒否を理由に迫害される

→信仰が広まり、各地に [ ] 組織

『[ ]』が編集される

・帝国統治にキリスト教が利用されるようになる

313年 コンスタンティヌス帝が [ ] でキリスト教を公認

325年 ニケーア公会議で教義を統一

→ [ ] を正統, [ ] を異端とする

→のちにアタナシウス派は [ ] として確立される

392年 キリスト教が [ ] になる

431年 エフェソス公会議で [ ] が異端とされる

→ササン朝をへて中央アジア・中国へ

#### ④ パルティアとササン朝 [p. 35]

[ ]

・前3世紀なかごろ イラン系遊牧民がシリアから独立して建国し、東西交易を独占して繁栄

[ ]

・3世紀にパルティア王国を倒して建国

・アケメネス朝の諸制度を継承して統治

陸海の交易路をおさえ銀中心の経済圏を形成

→ガラスや銀を使った工芸品が [ ] を経由して中国や日本に

伝わる(正倉院御物など)

・[ ] を国教

→3世紀 キリスト教, 仏教の要素も融合した [ ] が成立

・6世紀 ホスロー1世のころ全盛期を迎える

7世紀 イスラーム軍により滅亡